

令和2年度

自己評価表

東京IT会計法律専門学校大宮校は、高等教育機関として在学生在がより良い教育を受けることができるよう学校運営、教育活動について常に改善を図り、教育の質の向上と保証を図るために自己点検・自己評価を行いました。以下に令和元年度の結果を報告いたします。

1. 学校法人立志舎の沿革

- 1979年 東京IT会計専門学校が学校法人として新たにスタート。コンピュータ教育を導入。
- 1981年 全国高等学校簿記選手権大会を学園が主催。第4回大会から文部省の後援を頂き、簿記の甲子園として広く親しまれる。学園名物の第1回就職出陣式、第1回合格祝賀会開催。
- 1983年 公認会計士試験、税理士試験に専門課程在學生から全国最年少合格が誕生。
日本の専門学校で初めて公務員コースを設置。1年目に早くも151名の現役合格者を輩出。
- 1988年 情報管理学科を設置。情報処理分野の国家・検定試験においても次々と快挙を成し遂げる。
- 1989年 大阪IT会計専門学校、大阪法律専門学校開校。
- 1990年 日本スクールオブビジネスが開校。マルチメディア、スポーツ、トラベル、医療などの総合ビジネス学園として、新たな一步を踏み出す。
- 1993年 公認会計士試験11年連続専門課程現役合格達成。
- 1994年 東京法律専門学校より、司法試験史上初の専門学校生現役合格者が誕生。
- 1995年 専門課程在學生から経済産業省ソフトウェア開発技術者試験79名、基本情報技術者試験462名現役合格。情報処理分野においても名門の地位を確立。
- 1996年 経済産業省において、25歳未満の人が受験できる最上級レベルの経済産業省テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験に専門課程在學生から2名の現役合格者を輩出。
- 1997年 東京IT会計専門学校杉並校、東京法律専門学校杉並校、東京IT会計専門学校名古屋校、東京法律専門学校名古屋校開校。
- 1998年 日本スクールオブビジネス21、東京IT会計専門学校仙台校、東京法律専門学校仙台校開校。
公認会計士試験、税理士試験において専門課程在學生から全国最年少合格を輩出。
- 1999年 東京では11年ぶりの私立の新設高校として、立志舎高等学校を開設。
専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格者輩出。
- 2001年 簿記大会にIT部門を新設。全国高等学校IT・簿記選手権大会となる。
- 2002年 専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格。さらに、IT関連の国家試験に抜群の実績をあげる。
- 2003年 専門課程在學生から司法試験現役合格。東京IT会計法律専門学校横浜校、東京IT会計法律専門学校大宮校開校。専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格者輩出。
- 2004年 専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格(3年連続)含め6名現役合格。公認会計士試験、経済産業省情報セキュリティアドミニストレータ試験、テクニカルエンジニア(ネットワーク・データベース)試験、ソフトウェア開発、基本情報技術者試験等IT関連の国家試験に抜群の実績をあげる。
- 2005年 京都IT会計法律専門学校、大阪IT会計専門学校天王寺校、大阪法律専門学校天王寺校開校。

- 2006年 日本動物専門学校、専門学校日本動物 21 開校。全国高等学校 I T ・簿記選手権大会に F E 部門を新設。
 専門課程在学から公認会計士試験全国最年少合格者輩出。
- 2007年 東京 I T 会計法律専門学校千葉校、大阪動物専門学校開校。
- 2008年 専門課程在学から公認会計士試験全国最年少合格者輩出。経済産業省高度情報処理技術者試験に 34 名現役合格等の合格実績をあげる。大阪動物専門学校天王寺校開校。
- 2009年 名古屋動物専門学校開校。経済産業省高度情報処理技術者試験に 36 名現役合格等の合格実績をあげる。
- 2010年 第 30 回記念合格祝賀会を盛大に開催。国税専門官試験 26 年連続現役合格達成。
- 2014年 立志舎グループの各校が文部科学大臣認定「職業実践専門課程」設置校になる。
- 2017年 公認会計士試験現役合格 22 名、税理士試験全 5 科目現役合格 10 名
 国税専門官試験 33 年連続現役合格達成、法科大学院（ロースクール）に司法試験制度改革以来 12 年連続現役合格達成。
 経済産業省高度情報処理技術者試験（ネットワーク・データベース・情報処理安全確保支援士）現役合格 48 名
 総合旅行業務取扱管理者試験 46 名現役合格、国内旅行業務取扱管理者試験 224 名現役合格
- 2018年 公認会計士試験現役合格 40 名
 税理士試験 4 年連続全国最年少合格
 国税専門官試験 34 年連続現役合格達成
 法科大学院（ロースクール）に司法試験制度改革以来 13 年連続現役合格達成
 経済産業省高度情報処理技術者試験（ネットワーク・データベース・情報処理安全確保支援士）現役合格 44 名
 総合旅行業務取扱管理者試験 57 名現役合格
 国内旅行業務取扱管理者試験 225 名現役合格。
 国家公務員総合職・一般職（大卒程度）・地方公務員上・中級など現役合格 961 名、公務員初級など現役合格 5,629 名 / 警察官・消防官・自衛官現役合格 3,926 名 / 等（'19 年 3 月専門課程卒業生 / 1 次筆記合格のべ）
 民間企業就職率 99.40%、上場企業就職率 27.95%（'19 年 3 月専門課程卒業生）
- 2019年 公認会計士試験現役合格 26 名、
 税理士試験現役合格 6 名
 国税専門官試験 35 年連続現役合格達成
 法科大学院（ロースクール）に司法試験制度改革以来 14 年連続現役合格達成
 経済産業省高度情報技術者試験（ネットワーク・データベース・情報処理安全確保支援士）現役合格 50 名
 国内旅行業務取扱管理者試験 187 名現役合格
 国家公務員総合職・一般職（大卒程度）・地方公務員上・中級など現役合格 1,122 名
 公務員初級など現役合格 6,524 名 / 警察官・消防官・自衛官現役合格 4,517 名 / 等（'20 年 3 月専門課程卒業生 / 1 次筆記合格のべ）
 民間企業就職率 99.43%、上場企業就職率 28.02%（'20 年 3 月専門課程卒業生）
- 2020年 立志舎グループの各校が高等教育の修学支援制度の対象校として認定される。

公認会計士試験現役合格 34 名、税理士試験現役合格 6 名
国税専門官試験 36 年連続現役合格
法科大学院（ロースクール）に司法試験制度改革以来 15 年連続現役合格
経済産業省高度情報技術者試験（データベース・情報処理安全確保支援士）現役合格 24 名
総合旅行業務取扱管理者試験現役合格 40 名
国内旅行業務取扱管理者試験現役合格 107 名
宅地建物取引士試験 入学後半年合格 25 名 現役合格 30 名
国家公務員総合職・一般職（大卒程度）・地方公務員上級・中級等現役合格 1,185 名、
公務員初級等現役合格 5,767 名 / 警察官・消防官・自衛官現役合格 3,784 名 / 等
（'21 年 3 月専門課程卒業生 / 1 次筆記合格のべ）
民間企業就職率 98.21%、上場企業就職率 37.70%（'21 年 3 月専門課程卒業生）

2. 学校の教育目標および特色

本学は、学校教育法に基づき人格の陶冶とIT、会計、法律、行政、ビジネスおよび一般教養に関する正しい知識を身につけ日本経済の発展に貢献できる人材の育成を目的とする。これを実現するためにカリキュラムの編成や新学科の検討などを行っている。理念・目的・育成人材像は、教職員・学生にも周知徹底しており、学外にも広く公表している。

本学の特色は、公認会計士、税理士、情報処理技術者試験などの国家試験や日本商工会議所簿記検定などの資格試験の合格者が出ていることや公務員採用試験においても、行政職・公安職に毎年多数採用されている。また、民間企業就職率も高いことである。これは本学独自の教育システムである「ゼミ学習」によるところが非常に大きい。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3 2 1
ロ. 学校における職業教育の特色は何か	3 2 1
ハ. 理念、目的、育成人材像、特色等が学生、保護者等に周知されているか	3 2 1
ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3 2 1

課題

特になし

今後の改善方策

特になし

特記事項

開学以来「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入したことにより、明るく楽しい学園生活と資格取得実績、公務員試験合格実績、民間企業就職実績が両立している。

また、「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって取り組んでいる。

(2). 学校運営

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3 2 1
ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3 2 1
ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか	4 2 1
ニ. 教務、財務等の組織整備等意思決定システムは整備されているか	3 2 1
ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3 2 1

へ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	2	1
------------------------------	---	---	---

課題

昨今の雇用情勢を受け、採用計画に基づいた必要な人材を確保することが困難となっているため、待遇等の採用条件を見直す必要がある。

今後の改善方策

学校運営に必要な人材の確保と育成を目的としたプロジェクト委員会を昨年度より立ち上げ、今年度も改善を行っていく。

特記事項

本学独自の教育システムである「ゼミ学習」を通じて、資格取得、就職および明るく楽しいキャンパスライフの3本柱を追求することにより、学園の基本目標である「学生から信頼され支持される学校づくり」が実現している。

学務システム（入試システム及び学籍管理システム）は仮想プライベートネットワーク(VPN 網)を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。就職部は求人情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。

(3). 教育活動

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1		
イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	2	1
ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	2	1
ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	2	1
ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	3	2	1
ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか	3	2	1
ヘ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3	2	1
ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	2	1
チ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	2	1
リ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	2	1

課題

特になし

今後の改善方策

特になし

特記事項

本学の授業は開学以来、ゼミ学習方式を採り入れており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、協調性 表現力、コミュニケーション能力などの人間性をも涵養している。

教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っている。また、学生による授業評価アンケートを実施している。

26年度より文部科学大臣が認定する職業実践専門課程制度が発足し、本学の2年制学科はすべて職業実践専門課程に認定され、企業と連携して実践的な演習を各学科で行っている。

平成31年度よりGPA算定をするため、システムを改修し導入した。

(4). 学修成果

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
イ. 就職率の向上が図られているか	3 2 1
ロ. 資格取得率の向上が図られているか	3 2 1
ハ. 退学率の低減が図られているか	4 2 1

課題

特になし

今後の改善方策

特になし

特記事項

入学直後の新入生就職セミナーをはじめ進路決定ガイダンス、就職出陣式、学内就職セミナー、官公庁説明会を行っている。就職出陣式は毎年マスコミに取り上げられ本学学生が就職する際にも非常に優位になっている。学内就職セミナー、官公庁説明会には多数の企業や官公庁に参加していただいている。

学科・コースごとに目標とする資格や公務員採用試験を明確にして過去の経験に基づき綿密なカリキュラムを組み立てゼミ学習で授業を進めている。その結果が成果となりあらわれている。合格者は毎年帝国ホテルで行われる合格祝賀会に招待されることも学生のモチベーションを高めている。また、学園内各校と定期的に合格率向上を図るための会議を開いている。

担任以外にも相談できるように学生相談室を設置している。匿名でも、電話でも相談できるようにしている。無断欠席の学生には担任から電話連絡し長期欠席の学生が出ないように努力している。

(5). 学生支援

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3 2 1
ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか	3 2 1
ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3 2 1
ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3 2 1
ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3 2 1
ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか	3 2 1
ト. 保護者と適切に連携しているか	3 2 1
チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3 2 1

課題

特になし
 今後の改善方策
 特になし
 特記事項

保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっている。
 学生相談室は、匿名での電話相談にも応じている。

本学の特別奨学生試験や各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度は、貸与ではなく給付を採用している。

また、令和元年度に高等教育無償化の修学支援対象校として文部科学省より認定されている。
 校舎入り口やトイレ等に消毒剤等を設置することで、各種感染症の予防を行っている。また、インフルエンザが流行する時期は、インフルエンザ等罹患状況報告書により罹患状況を把握し、感染拡大防止のための措置（学級閉鎖等）を行っている。

(6). 教育環境

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1		
イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	2	1
ロ. 防災に対する体制は整備されているか	4	2	1

課題

特になし
 今後の改善方策

災害時対応のみならず、不審者対応も含む危機管理マニュアルに変更・作成し、対応する。法令に準拠して、見直していく。

特記事項

施設・設備は学生に教育上支障がないように整備されている。
 防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に避難訓練等を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。また、自衛消防を組織している。
 危機管理マニュアルを整備し、教職員に周知徹底を図っている。

(7). 学生の受け入れ募集

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1		
イ. 学生募集活動は、適正に行われているか	3	2	1
ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	2	1
ハ. 学納金は妥当なものとなっているか	3	2	1

課題

特になし
 今後の改善方策

特になし

特記事項

公認会計士試験、税理士試験、情報処理技術者試験などの高度な試験や公務員採用試験においては信ぴょう性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を掲載しており、志望者や保護者の方の判断にも役立つと思われる。

入学者に対するアンケートを毎年実施し、その結果、卒業生の活躍が入学にあたりとても参考になったという回答を数多く得た。

(8). 財務

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3 2 1
ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3 2 1
ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか	3 2 1
ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか	3 2 1

課題

特になし

今後の改善方策

特になし

特記事項

少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1
イ. 法令、専修学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	3 2 1
ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3 2 1
ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4 2 1
ニ. 自己評価結果を公開しているか	3 2 1

課題

特になし

今後の改善方策

特になし

特記事項

法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。また毎年、東京都人権啓発センターより講師を招いて人権研修を実施している。

本学では信ぴょう性を確保する目的で、学生の手承を得られる場合においては国家試験や公務員採用試験などの合格情報や民間企業就職実績の情報を氏名や出身校名を出して掲載している。この場合にお

いては、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。

定期的に情報セキュリティ研修を実施する必要がある。

自己点検・自己評価については学校関係者評価委員会で報告し評価をいただき、その結果もホームページ上に公開している。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切...4、ほぼ適切...3、 やや不適切...2、不適切...1		
	イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	2
ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	2	1
ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか	4	2	1

課題

学校の教育資源や施設を活用した地域に対する公開講座などを実施していない。

今後の改善方策

学校の教育資源や施設を活用した地域に対する公開講座などを実施し、地域社会との連携をさらに強化する。

特記事項

さいたま市と「災害時における施設などの提供協力に関する協定」を結び、災害時に地域住民に施設を開放し、円滑な支援を実施している。

毎年、学生が彩の国ボランティア体験プログラムに参加し、校舎外の近隣の道路清掃が街の美化に貢献している。

大宮区と協力してイベント等を盛り上げていく「大宮“WA こうど”の会」主催の「大宮区意見交換会」に学生が参加し交流を図っている。

地域貢献が評価され、令和2年2月に大宮区長より表彰される。

自衛隊主催のイベントで学校の駐車場を開放し自衛隊車両の展示に協力を行う。